

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	クオリティ・オブ・ライフ久留米支援教室		
○保護者評価実施期間	令和6年12月16日		令和7年1月4日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	令和6年12月1日		令和6年12月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年2月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	充実した環境・設備：広い活動スペースとバリアフリー対応で、子どもが安心して過ごせる環境	多様な活動プログラムの提供：季節に応じた工作や体験活動をバランスよく実施	専門職員の採用・育成：個別支援の質をさらに向上
2	専門性の高い職員による支援：計画に沿った適切な支援と個別対応ができる職員体制	保護者支援の強化：面談や保護者会の開催、保護者同士の交流の場の提供	地域・学校との連携強化：幼稚園・保育園・学校との情報共有を強める
3	保護者との密な連携：ペアレントトレーニングや定期的な相談支援を通じたサポート	職員のスキルアップ：研修機会を確保し、質の高い支援を維持	チームでのプログラム立案：職員負担を軽減しつつ、多様な支援を提供

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流の不足：障害のない子どもとの交流機会が少ない	地域連携の未整備：児童館や放課後児童クラブとのつながりが薄い	地域交流イベントの開催：児童館や地域住民との関係を深める
2	情報共有の課題：職員間・保護者間での連携が不足する場面がある	職員の確保・育成不足：専門職員の採用が十分でない	職員研修・採用の強化：専門的なスキルを持つ人材を確保し、育成する
3	職員の負担増加：人員不足により、プログラム立案や業務負担が増している	業務の効率化不足：情報共有や業務分担が不十分で負担が偏る	業務の効率化：チームアプローチを活用し、プログラム作成や情報共有をスムーズにする